日本ビジネス航空協会 会報

2024 年 1 月号

JBAA JAPAN BUSINESS AVIATION ASSOCIATION
一般社団法人 日本ビジネス航空協会

CONTENTS

◇　巻頭　2024 年　新年のご挨拶　1 ページ

一般社団法人日本ビジネス航空協会 会長 岡田圭介

◇　会員紹介　3 ページ

双日株式会社

◇　JBAA HP ACCESS 実績　5 ページ

◇ 巻頭

一般社団法人 日本ビジネス航空協会
会長 岡田 圭介

2024 年　新年のご挨拶

新年おめでとうございます。

世界で今起きている変化。
気候変動、海水温の上昇、洪水や干魃、火山の爆発、大地震。
無抵抗の市民を巻き添えにしていく戦争。政変。国境を越えて移動を余儀なくされる無数の難民達。
かつて仕事で訪れた世界の各地で、日々人々が直面している変化を思うと、こうして例年通り新しい年を迎えてのご挨拶をさせていただいている事、ありがたく感じます。

日頃、協会の皆様には過去を語らず、未来、将来、明日を見つめて、頑張ろう！と繰り返している小生ですが、本年のご挨拶では少しだけ、昨年の活動を振り返りたいと思います。

2023 年度は 5 月の総会で新しく岩戸事務局長(常務理事)を迎えました。
これまで事務局業務を担当し、加えて技術規制緩和業務でも顕著な成果を挙げてこられた菊池事務局長は退任され、本年度から後任の岩戸氏が事務局長を引き継ぎ、協会の取り組みを推進しています。

新体制では昨年度に続いて、制度改革、技術規制緩和、空港インフラの改善など協会として働きかけを行うとともに、国民をビジネスジェットの味方にする為のマーケティング活動に取り組んでいます。

本年度の理事会では、議論を重ねるなかで、ビジネスジェットを日本の皆さんに正しく理解して頂き、味方になってもらうことがとても重要だ、との理解に至りました。利用者目線でビジネスジェットを語りつつ、ビジネスジェットが世界ではごく当たり前の社会インフラである事を日本の皆さんに理解していただけるように協会として活動する。規制緩和や空港インフラの充実に加えて、協会のもう一つの役割を改めて認識致しました。

難しい課題ですが、2024 年は目的に向かって更に具体的活動を進めていく段階です。協会の皆様からのアイデアや参画を得ながら、前進していきたいと思います。

昨年、12 月には新千歳空港にビジネスジェット専用ターミナルが開業しました。記念式典に参列の皆様はビジネスジェットの素晴らしさ、利用者の実像、価値、意義などを正確に理解されていました。地域経済への期待も含めて、これからもビジネスジェットをどんどん受け入れよう！の気概に溢れていました。

羽田空港、成田空港、セントレア空港、関空、のみならず、日本各地の空港でもビジネスジェットへの前向きな取り組みが進んでいます。ビジネスジェット専用ターミナル・施設を有する空港は国内に 9 空港を数えるに至りました。8 年前に会長に就任した頃とは格段の違いです。

オリンピックやコロナ禍を通してビジネスジェットのもたらす価値、その存在意義は企業や利用者に改めて注目されました。また大谷選手やダルビッシュ選手がビジネスジェットを利用したとの報道が注目されましたが、いまや日本でも、こういった話題が当たり前の事として受け取られる時代に至りました。

当協会、JBAA はその構成メンバーが多様です。いわば他民族国家のような集まりです。それぞれの立場と信念と目標を持って、闊達な意見を交わしながら毎日を模索し常に前進していきたいと思います。

世界情勢が不安定だからこそ、また人類にとってピンチの連続だからこそ、ビジネスジェット利用のニーズは高まっています。苦しい世界情勢を逆に追い風だと受け止めて、本年も取り組みを進めていきたいと思います。皆様のご指導、ご鞭撻の程、宜しくお願い申し上げます。

2024.01.01 岡田圭介

◇会員紹介

双日株式会社

会社概要

双日株式会社航空産業・交通プロジェクト本部は、半世紀以上にわたり航空・交通・船舶各分野において事業を展開してきました。特に航空分野においては、ビジネスジェット関連事業やボーイング社代理店に加え、民間機リース事業や中古機のパーツアウト事業など様々な事業領域に裾野を広げております。今後は 2030 年に向け、ボーイング社とのパートナーシップ深化、ビジネスジェット事業の機能拡大、北米鉄道事業への幅出しに注力し、航空・交通産業のさらなる発展に貢献してまいります。

双日ビジネスジェット事業の歴史・変遷

2003 年	ビジネスジェット事業を開始
2005 年	運航管理事業開始
2017 年	米国籍機体の運航管理を行う Phenix Jet ブランドを設立
2019 年	ANA ホールディングスと共同で ANA ビジネスジェット株式会社を設立
2020 年	Phenix Jet Cayman SEZC を設立し、新たに運航ライセンスを取得
2022 年	株式会社ジャプコンを完全グループ化

長年にわたるボーイング社の販売代理店やビジネスジェットの運航経験を土台に、双日では 2003 年よりビジネスジェット事業を開始し、10 年以上にわたりチャーター販売やジェット機の販売を行ってきました。そして 2017 年に Phenix Jet ブランドを設立し、日系企業を親会社に持つ唯一の国際線運航会社として日本のお客様のためのサービスを提供しております。2019 年には ANA ホールディングスとの共同事業会社 ANA ビジネスジェット株式会社を設立いたしました。続いて 2020 年には Phenix Jet Caman SEZC を設立し、米国籍に加えケイマン国籍の運航も可能となり、さまざまなニーズのお客様にお応えできるようになりました。さらに 2022 年には株式会社ジャプコンを買収、日本国籍機を加えたマルチな運航サービスをお客様にご提供しております。Phenix Jet グループは拡大を重ねており、2022 年から 2 年連続でチャーター機管理機数アジア 1 位（出典：Charter-2023-EN.pdf (globalsky.media)）に選ばれたほか、AsBAA（Asian Business Aviation Association）授賞式にて最優秀 AOC チャーター運航会社に選ばれました。

双日ビジネスジェット事業のビジネス

双日グループは包括的な一気通貫サービスを提供しており、メーカーを問わずお客様のニーズやご予算に合わせて新造機や中古機の売買支援から適切な運用プランをご提案し、保有中の管理運用までサポートさせて頂いております。

＜チャーターサービス＞

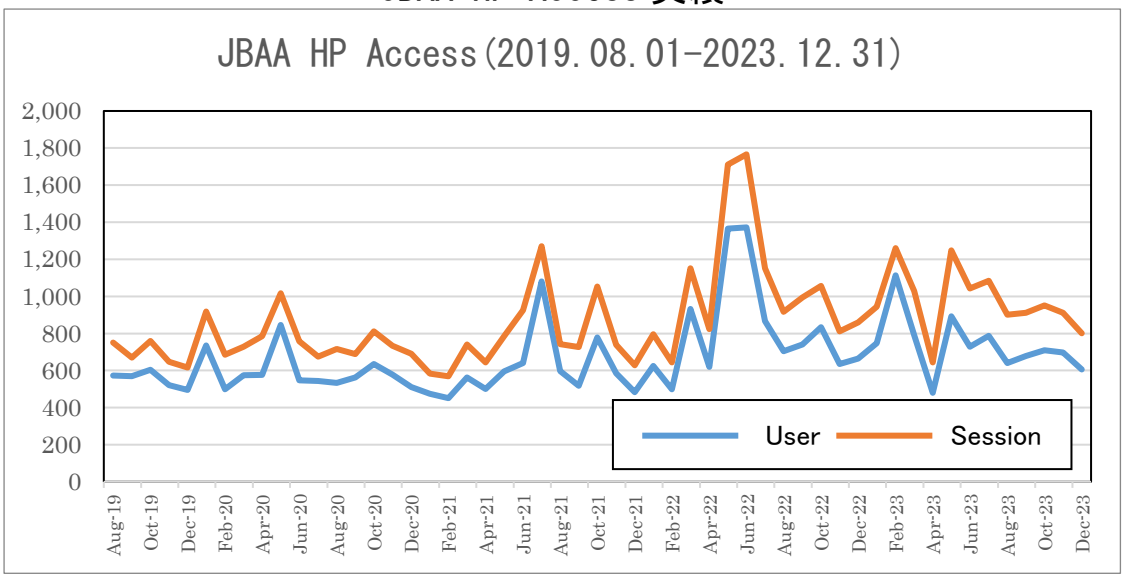
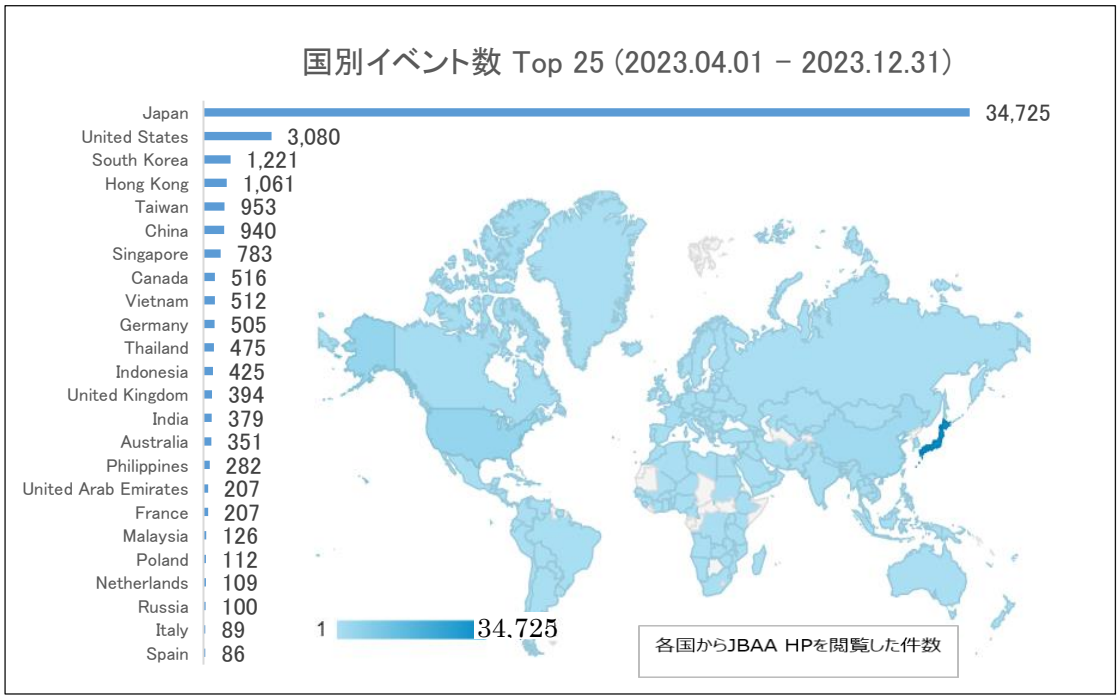
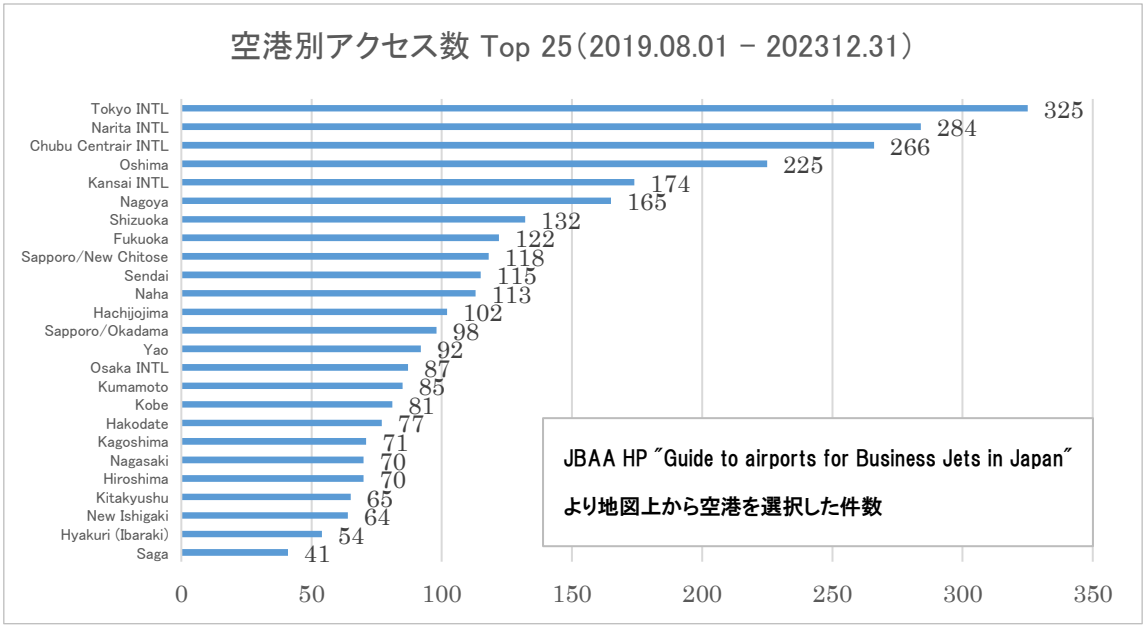
成田と香港を拠点とする国際線を運航するオペレーターPhenix Jet と、国内オペレーターである岡山航空株式会社（株式会社ジャプコンの 100%子会社）を中心に、国際線・国内線問わずお客様のご希望に合ったチャーターサービスを提供しております。

＜機体売買支援サービス＞

お客様のニーズに合わせた適切な機種選定からご契約に至るまでの、すべてのプロセスをサポートいたします。ご要望に合わせて運航拠点を確立、パイロットや客室乗務員を手配し、運航開始に至るまでのあらゆる手続きを代行いたします。

＜運航管理サービス＞

機体の運航、整備、予算管理を含む包括的な運航整備マネジメントを、世界最高峰の安全基準で提供しております。

安全格付

JBAA HP Access 実績